

学術情報センターだより

Library and Information Technology Center Nagoya Women's University

情報過多の時代においてこそ、「本当」を見抜く力を！

石田 和人（理学療法学科長）

ある著名な研究者は、朝起きて、まずパソコンで文献検索をし、その日に公開された論文を100篇ほど読むそうで、それが毎日の楽しみなのだそうです。朝が苦手な私からみれば、凄まじいほどの荒行とも映りますが、この先生にとっては、それが楽しみであるとおっしゃるのです。なぜならば、日付変更線に近い日本で、我々が眠っている夜中の時間帯に、欧米では、新しい研究成果が次から次へと論文文化され、配信されるので、我々日本人が、朝起きたとき、これらの情報に触れることにより、正に最新の英知を目の当たりにすることができるからだというわけです。それまで知らなかったことを知るといことは、私たちの好奇心を掻き立て、自分自身にも影響を与え、時には自分自身が成長させるきっかけにもなるものと思われま

す。このように新しい情報を知ることは研究者のみならず、一般の人々においても大きな魅力であると思います。また、これらの情報が、的確な研究デザインと客観性のあるデータ解析などが実施され、エビデンスとしての価値を有するからこそ、信用に値するものとなります。ただそれでも、公表された研究結果の全てが正しいというわけではなく、後日、全く反対の立場を取る見解が発表され、否定されることもあるはずで

す。こうした意味から考えると、研究は決して安易なものではなく、多くの先輩研究者の絶え間ない努力と苦しみを礎に積み上げた宝物といえるでしょう。

しかし、一方、インターネットの普及により、何か疑問が浮かべばすぐスマホに手を伸ばし、あっという間に情報を得ることのできる時代でもあります。本当に便利な世の中になったものだと思える一方、その情報の多さは莫大であり、すぐに得られる利便性の反面、間違った情報や確かさが十分に検証されていない情報も多く存在しています。また、それを見抜くことが難しい状況でもあります。さらには、情報を一定方向に誘導されてしまうリスクも想定され、情報操作や言論統制に利用される危険性すらあると言えます。こうなると、もはやサイバーテロ攻撃と言っても過言ではない状態にあるわけですが、巧みに忍び寄る悪魔がそこに見え隠れするような不安を覚えるものです。

さて、このような状況下、私たちはどのようにして良質な情報を得れば良いのでしょうか。情報リテラシーを習得することは、もちろんですが、この問いに答える本質的なカギは、我々人間が、リアルに生き、育ち、育む社会のその実態を自身の目を見て、耳で聞き、どう感じるか。我々現代人には、その知覚を磨き、「本当」を見抜く力を養うことこそが、最も重要な課題であるように思われます。

◎ 目次 ◎

巻頭言	p. 1
情報セキュリティの最新動向	p. 2
図書館・学生インターンシップ活動報告	p. 3
図書館サポーター活動報告	p. 3
学術情報センターオンデマンド教材のご案内	p. 4
お知らせ	p. 4

情報セキュリティの最新動向

ネットショッピングや電子決済をはじめとしたインターネットを通しての利便性の高いサービスが普及する一方で、個人情報漏洩や詐欺被害にあうなどのリスクも高まっています。今回は情報セキュリティの最新のトピックをお知らせします。

マルウェア(Emotet) 感染再拡大

「Emotet」(エモテット)とは、主にメールによって侵入するマルウェア(≒コンピュータウイルス)で、多くの企業や組織に被害をもたらしてきました。Emotetに感染したことが原因で「約1億円もの被害にあった」「5億円を超える身代金を要求された」といった事例も報告されています。国内の大学では教員のパソコンがEmotetに感染して、該当教員とメールのやりとりがあったメールアドレスが窃取されたという事例もあります。

2021年11月後半より観測されているEmotetは、主にマクロ付きのExcelやWordファイル、あるいはこれらをパスワード付きZIPファイルとしてメールに添付する形式で配信されています。ファイルを開封後にマクロを有効化する操作を実行することでEmotetの感染に繋がります。感染のさらなる拡大を防ぐため、知人・友人などから送られているようにみえるメールでも安易に添付ファイルの実行や文中のURLクリックをしないよう注意してください。被害を最小限に抑えるために、以下の情報セキュリティ対策の基本を確実に実施しましょう。

セキュリティ対策の基本

- Windows Updateは最新のを適用する。
- コンピュータウイルス情報定義ファイルは常に最新にアップデートする。



最新情報

■ 2022年11月4日 IPA注意喚起

2022年7月中旬よりEmotetの感染に至るメールは国内では観測されていませんでしたが、11月2日よりメールの配布が観測されています。基本的な攻撃手口は変わらず、メールには悪質なxlsファイル(エクセルファイル)あるいはxlsファイルを含むパスワード付きのZIPファイルが添付されています。引き続き警戒してください。

宅配便業者を装った偽メールにご用心

経済産業省所管の政策実施機関であり、情報セキュリティ対策に取り組んでいる「独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)」が宅配便業者を装う偽のショートメッセージ(SMS)が増加中という注意喚起を行っています。たとえば次のような偽メッセージが確認されています。

クロネコメンバーズのお客様へ

本日5月30日、午前中にお荷物配達にうかがいしましたがご不在でしたのでお手数ではございますが下記フォームより再配達のお手続きをお願い致します。

■再配達送信フォーム■

<https://xxxxx.yyyyyy.zzz/sdhu7gghd>

この偽の送信フォームに自分の「ユーザー名」や「パスワード」を入力してしまうと、第三者にアカウント情報を盗まれたこととなります。同じパスワードを使用していることを期待して他のサービスに片端からログインを試し、ログインできると様々な不正を働くことができるようになります。

最近の迷惑メッセージは自然な日本語になっているため、本物かどうかまずは疑ってみることが肝心です。IPAによると同様の手口で佐川急便・日本郵便のものが確認されています。各社ともにショートメッセージ(SMS)で顧客への連絡は一切行っていないとウェブサイトで注意喚起しています。運送業者から来たショートメッセージ(SMS)は100%偽物と判断できます。宅配便業者を装う偽メッセージにはくれぐれも注意するようにしましょう。

参考サイト

- 1) 宅配便業者に加えて通信事業者をかたる偽ショートメッセージサービス(SMS)が増加中～偽SMSから不正アプリのインストールやフィッシングの被害にあう手口に引き続き注意！～
<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/mgdayori20211222.html>
- 2) ヤマト運輸の名前を装った「迷惑メール・電話」および「なりすましサイト」にご注意ください
https://www.yamato-hd.co.jp/important/info_181212.html
- 3) 佐川急便を装った迷惑メールにご注意ください
<https://www2.sagawa-exp.co.jp/whatsnew/detail/721/>
- 4) 郵便局などを装った不審な電話、メール、SMS及び架空Webサイトにご注意ください
<https://www.japanpost.jp/information/fraud-mail.html>



図書館・学生インターンシップ活動報告

図書館・学生インターンシップ学生は、図書館のバックヤード業務のほか、広報活動や資料紹介などの取り組みを行っています。今回は、企画展示「愛知の宝：有松・鳴海絞り」に取り組んだ学生による活動報告をご紹介します。

図書館学生インターンシップでの集大成 ～「愛知の宝：有松・鳴海絞り」展示を通して～

家政学部生活環境学科 4年 奥村明子

私は図書館学生インターンシップとして、図書館のいろいろな業務に携わりました。日々の通常業務では、閲覧図書のパッケージ読み取りや返却図書の配架、新着図書のラベル貼りを主に行いました。また、私はありがたいことに図書館中央の展示コーナーを使った企画展の企画・考案にも携わり、現在展示されております。

さて、このインターンシップの集大成といえるような経験であった企画展について触れていきたいと思えます。私がこの企画展に携わるきっかけになったのは、月に一度行われる会議で、ある職員さんから企画展の話聞いたことです。「やってみたい」という気持ちが強く出たため、挑戦することになりました。展示の内容を自分で決めるときに考えたことは、「季節」と「愛知にまつわるもの」。この頃は少しずつ夏に向かっていたため、夏に活躍する伝統工芸品である「有松・鳴海絞り」に焦点を当てることになりました。

企画展の準備で楽しかったことは、普段あまり行かない本棚で資料探しをしたことです。ファッションや伝統工芸品が好きで、資料探しに夢中になっていました。反対に、難しかったことは、展示内容の構成です。歴史と技法をどれくらいの配分で組み合わせたらよいか悩みました。企画において一番時間がかかったのがこの作業だったのではないかと思います。資料を展示する上でこだわった点は「これも絞り染めの？」と驚いてもらえるような、一風変わった柄の絞り染めの作品が載っているページや、はぎれの見本を置いたことです。少しでも興味を持ってくれる人が増えたらいいなという気持ちを込めて、あえて有名どころとは違う柄にしています。歴史はわかりやすく、出来るだけ簡単にまとめたので、気軽に見ていただけたら嬉しいです。

最後になりますが、図書館学生インターンシップで貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



図書館サポーター活動報告

図書館サポーターちえりっぶは結成から9年目を迎えます。令和4年度は、健康栄養学科・看護学科・生活環境学科・児童教育学科・保育学科より8名のメンバーが活動しています。昨年度の活動は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い一時停滞していましたが、今年度は学内活動やオンライン活動を中心に活動を再開することができました。そんな活動の一部をご紹介します。

学生協働フェスタin東海2022

9月14日に学生協働フェスタin東海2022がオンラインで開催されました。本催事は今年度で5回目となります。東海地方の7大学の図書館で活動する学生サポーターが集い、ちえりっぶメンバーからは4名が参加しました。



全体司会をちえりっぶメンバーが担当し、緊張しながらも聞き取りやすい進行に努めました。三重県尾鷲市の**トンガ坂文庫**さんによる読書に関する講演をはじめとして、推し本トーク・ブックウルフ等の本を通しての交流ゲーム、各図書館サポーターによる動画やスライドを用いた活動発表を行いました。

図書館や読書が好きな学生同士、お互いの活動に共感したり、好きな作家や本の話で意気投合したりと、楽しい時間を共有することがモチベーションアップにつながりました。

第71回 名女大祭に出展

第71回名女大祭に古本バザーを出展しました。学内の不要図書リサイクルで寄付いただいた本や、大学図書館で廃棄となった雑誌のバックナンバーを販売し、併せてちえりっぶの活動紹介ポスターの展示も行いました。

3年生以下のメンバーは初の対面での大学祭となったことから、以前の先輩ちえりっぶの大学祭記録を参考に準備をすすめました。例年よりもお客様が少ない中、ちえりっぶメンバーの健闘により、売上金額は11,510円となりました。売上金は全額**シャンティ国際ボランティア会**に寄付しました。



学術情報センターオンデマンド教材のご案内

学術情報センターでは、学生の皆さんがいつでもアクセスできる教材を公開しています。Glexaにログインすると、データベースの使い方や便利なサービスの利用方法がわかります。授業や講習の予復習にも活用してください。

🍀 アクセス方法

- ① Glexaにログインします。
- ② トップページでタブ【ALL】を選択します。
- ③ コース名【学術情報センター利用指導】を選択します。
- ④ 左列の【ディレクトリ】から教材を選択し閲覧します。



論文作成、就職活動...
さまざまな場面での
情報検索をガイダンス!

ディレクトリから
関連授業名や目的別に
教材を探します

いつでもアクセスできるのがオンデマンド教材のメリットです。今後も、皆さんの学習・研究支援のために各分野での教材コンテンツを充実させていきます。

お知らせ

🍀 学生選書ツアー実施報告

6月18日にジュンク堂書店名古屋栄店で、令和4年度前期の学生選書ツアーを実施しました。今回は健康栄養学科・看護学科・児童教育学科から5名の有志の学生が参加し、ひとり予算1万円で、学科の学びに役立つ本、通学中や余暇に楽しみたい本など、名女大生に読んでもらいたい本を48冊選び、事後活動として選書した本のおすすめポイントを紹介するPOPを作成しました。

作成したPOPは選書した本と一緒に、図書館1階一般書コーナーの学生選書ツアー展示にて公開中です。ぜひご利用ください。



🍀 学内Wi-Fi対応教室の増設

2022年夏に学内のWi-Fiエリアが増設されました。Wi-Fi接続には学内アカウント情報（ユーザー名・パスワード）が必要です。接続方法は[マニュアル](#)を確認ください。

Wi-Fi接続エリア一覧

(2022年11月1日現在)

- 図書館：1階、2階
- 本館：209・210講義室
- 西館：1階ラーニング・commons
- 東館：104食堂実習室、301講義室
- 中央館：1階
- 南3号館：111・304講義室
- 南4号館：105・203講義室
- 南7号館：エントランスホール・109講義室
- 南8号館：食堂、102・104・106・401講義室

名古屋女子大学 学術情報センターだより 79号

発行日：令和4年11月30日 発行：名古屋女子大学学術情報センター
学術情報センターWebサイト <https://lsic.nagoya-wu.ac.jp>

〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3-40
TEL：図書館(052)852-9768 システムサービス(052)852-1120